

報 行 部
島 三 小 育 友 会
発 報 部

〔第69号〕

が ん ば

もちつき大会

おにぎりも
たくさんできました



流行と子ども

教頭 大場 昭 生

育友会の町内訪問の折、多くの町内で、高価なゲーム機や流行の学用品のことについて話が出ました。学校、家庭での指導について色々と熱心な話し合いがなされましたが、ピンヤリと効く特効薬的な方法となるとなかなかむずかしいものだと思います。

家庭でも親は困ったことだと思っても、子どもの興味を奪うことはできないし、頭ごなしに禁圧的な態度に出ても反抗的な態度に出るか、親にかくれてこっそり楽しむことにもなりかねません。

かといって、放置してよいものではありません。子どもが流行のゲーム類や遊び等に夢中になった場合、どうして、そんな興味をもつのか、よく観察してみることが大切だと思います。

子どもは社会の風潮に対してじつに敏感ですから、テレビや友だちの間に流行すればすぐそれにとびつきます。友だちの間で話題にのぼるものを知らなかつたり、経験がなかつたりすると子どもは敗北感を感じるものです。

それで、はじめは興味のないものでも、流行すればするほど関心をもちはじめます。

しかし流行には潮時があり、一時的にはだれでも夢中になりますが、個性的な興味でそれのうち勝つ時がくるもので、そしてだんだん興味が移っていきます。このような個性的な興味が強ければ流行の影響はあまり強く受けません。

と同時に、楽しむ時間と勉強や仕事の時間と、けじめをつけて、余暇を楽しむというしついで、生活全体のバランスがとれるようにしたいものです。

また一時的に夢中になっているときに、すぐ買与えることは興味を強めることにもなるし、しばらくがまんさせて様子を見る必要があります。

流行といっても、物品の豊富な現在、自慢ごっこ、とり替ごっこ、万引ごっこ、金銭の浪費とともに非行につながる場合を考えれば、家庭でも十分気をとめていたいただきたいことです。

昭和57年度 町内訪問実施状況

期 日	町 内 名	場 所	出 席 数	出席率(%)
8.18	白土舟津下	消 防 詰 所 二 階	11 (0)	58
19	坂下・八幡	島 三 小 会 議 室	12 (1)	46
20	栄 町	〃	14 (2)	24
21	南 風 泊	吉 田 則 正 氏 宅	11 (2)	58
30	下 川 尻	下 川 尻 公 民 館	26 (0)	57
31	川 尻	島 原 ド ッ ク ハ ウ ス	16 (0)	76
9. 3	元船津・浦田下	橋 村 氏 宅	27 (1)	52
4	湊 新 地	児 玉 勝 利 氏 宅	9 (2)	43
6	南 下 川 尻	南 下 川 尻 公 民 館	23 (2)	52
9	蛭 子 町	浦 田 保 育 園	18 (5)	86
10	有 馬 船 津	浜 田 元 成 氏 宅	15 (1)	83
13	崩 山	池 田 忠 好 氏 宅	20 (3)	77
16	白 山	本 田 兼 利 氏 宅	14 (2)	108
17	緑 町	緒 方 唯 男 氏 宅	22 (5)	76
22	新 山 西	下 の 湯	23 (3)	47
24	桃 山	児 童 館	10 (2)	50
25	坂 上	中 川 忠 一 氏 宅	23 (5)	59
27	霊 南	中 村 信 彦 氏 宅	21 (4)	66
28	広 馬 場	白 山 公 民 館	8 (0)	42
29	津 町	珠 林 桂 雄 氏 宅	10 (3)	59
10. 6	白土舟津上	上 田 氏 宅	12 (1)	86
7	浦 田 上	浦 田 保 育 園	22 (0)	61
8	新 山 東	島 二 中 函 工 室	32 (3)	42
18	中 組	木 崎 潤 蔵 氏 宅	12 (6)	120
合		計	411(53)	57

()は男数

町内訪問を終えて

生活部 古井久輝

生活部の行事の中で最も大きな比重を占めている町内訪問は、八月十八日から十月十八日までの三ヶ月の長期にわたり、今年も町内代議員の方



がた、育友会員の皆様のご協力により全町内訪問を終わることができました。今年で五年目を迎え、育友会の年中行事の一つとして、それとなく根をおろしてきたのではないかと思われます。ややもするとマンネリ化する中で、意義のある町内訪問にする為、何か思考を凝らしている案を練って見たものの、これと言った目玉の商品もみつからず、その結果、十点ほどの議題をあげた中から各町内に応じた三点を選んでいただき、懇談の内容として話を進めていくことにしました。議題の

内容も町内によってそれぞれ異なるし、とくに「しつけ」「非行」「親子のふれあい」「物を大切に」など、今私達が一番関心のある議題が多かったように思います。話の内容も「がんば」六十八号の中間報告で本多茂先生がくわしく書いて下さっていますのでもう一度ごらん下さい。

今年各町内共父親の参加が少なかつたのではないかと思います。お忙しいでしょうが、年に一度の町内訪問です。お父さん方の多くの出席を希望します。司会やお世話をしてくださった代議員の方、会場を提供してくださった会員の方々、どうもありがとうございました。これからの協力もよろしく願います。

最後になりましたが、三ヶ月の長期にわたり毎日のように出席していただいた校長先生、教頭先生、それに諸先生方、育友会長、同副会長さん方には、いろいろご迷惑かけました。

もし来年度も町内訪問がおこなわれるならば、もう少し短期間で終わることができるような工夫が必要ではないかと思えます。

九月十八日(十月四日まで、文部省教員海外派遣アジア・オセアニア団の一員として、海外研修をいたしましたので、その概略をご報告いたします。)

ハニュージランドV
私達一団二十名が、ニュージランドのオークランド空港に到着したのが十九日の正午、すぐに入国手続きをすませ、貸切りバスで見学をすませ、気温二十二度、気候は春で桜の花が満開し、広々とした平原に牛や羊が寝そべり、牧草を食べたりしている様子を見た時、何とすばらしい国だろうと思つた。ある程度予備知識はもつていたものの、やはり実際にこの目で確かめた瞬間は、三ヶ月たった今でも、頭の中しつかりと焼きついてはな



ニュージーランド授業風景

その能力が発揮できるように、遅れた生徒には基礎学力をつけるために、教育機器の活用や指導法の工夫などにより、個別指導が徹底して行なわれている。日本の学校教育より、教育課程にゆとりがあり、受験競争がなく、自分の能力によって、学校が選べるしくみになっていく。ニュージランドの生活の様子を見るために、班別に分かれ家庭訪問をする。私が訪問したところは、オークランド銀行に勤務している家庭で、夫人は元教師で、化学や音楽

れない。この地で五日間滞在し、学校訪問や家庭訪問をする。学校訪問は、日本の小学校・中学校・高等学校に相当する学校であったが、どの学校も日本からの訪問を非常に歓迎してくれ、又、歓待を受けた。小学校入学は、満五歳の誕生日に入学するしくみで、日本のように期日が一定してない。一クラスの人数は、三十名程度で能力別指導が徹底している。一斉指導ではなく個別に分け、個別指導がなされている。これは中・高校も同じである。生徒には

海外研修視察を終えて

教諭 織田 丈治

を教えていたということである。そして主人は、ラグビーのレフリーとして活躍中というスポーツマンでもあり、写真を見せてもらったが、ラグビーをそのまま観戦する思いがした。夫人には日本の歌を伴奏してもらい、みんなでたのんでいる。二人とも落ち着いたもの静かな雰囲気も漂わせて、熟年の夫婦というものが、夫の姿を見ることができた。夫

礼儀正しく時間をかけて夕食をとる国である。町中の商店も午後三時には大半が閉まり、五時には殆んど全店が閉まる。日本のようなネオンサインはどこにも見あたらない。ニュージランド人は家庭でワインを飲み、肉食中心で魚は食べない。体格がよく、物事によくよせず、素朴、明朗、親切がニュージランド人の気質のようである。ハオーストラリアV オーストラリアはとにかく広い。日本の二十一倍の面積をもち、雄大な自然の中で果てしなく広がる牧場に、羊や牛が無数に散らばっている国である。また、カンガルー・コアラ

希望に合わせた選択科目の指導が十分なされている。図工を例にとると年間一つのもの完成するというところである。材料も自分でさがし、設計し、作品の完成にあたっている。だからやらされるのではないので、意欲的に製作にとりくめるわけである。日本の教育水準の高さは認めるが、オーストラリアでは生徒の進路決定にも考えさせられるところが多かった。ハシンガポールV シンガポールに着くと、やると日本に近づいたという感じがした。日本人とも会うし、日本語が通用する。驚いたことは、街の中が非常に美しいというところである。「煙草の吸いがらやゴミの投げ捨ては、罰金五〇〇ドル」と英語で書いてはりが目が目についた。日本も是非見習いたい。多くの民族が寄り集まっている世界の縮図を思わせる国際都市シンガポールの発展途上の断面は、あちこちでビル建設工事が行なわれていることだろうか。だが裏町の住宅は、貧弱で貧富の差があることを見せつけられた。教育はまだ制度を如何に改良するかというところに、真剣に取り組んでいる段階である。今後ますます発展する国だと思ふ。

婦の交わりも、親子の交わりも、教師と生徒の交わりも、人と人との交わりも言葉ではなく、行動と心で接することではないかと、今さらながら考えさせられる思いがした。本当に英国風な家庭だと思った。ニュージランド滞り期間中は、あわたたしいスケジュールであったが、日本とは生活様式が違うことを痛感した。食事のマナーが厳しいこと、レストランに行くにもきちんとして正装しなければいけないし、家庭でも静かな雰囲気の中で、

ペンギンを自然のまま見る機会を得たのもこの地で肉食私達はニュージランドで肉食がこへきてやつと新鮮な魚がたらふく食べられて生きがえった思いがした。新鮮な「えび」「かき」の味は今も忘れられない。オーストラリアも、ニュージランドの教育と大差ないが、指導内容には大分ゆとりがあるように感じた。教師も生徒もゆとり活動している。中高生には本人の能力、素質、

この研修視察での、多くの収穫と貴重な体験は、学校現場で生かしていきたい。

5年騎馬戦

体 育 部

秋の大運動会



熊本勇治

秋の運動会「父さん頑張れ母さん頑張れ」の声援で盛上がった育友会町内対抗リレー、お疲れさまでした。町内訪問で、育友会町内対抗リレーを取り入れてほしいとの希望が多く、昨年迄の綱引に変わり、今年はリレーを行ないました。学校側から、育友会の持ち時間が15分、20分という事で体育部会を開き、いろいろな意見を検討して、男子30才代 二人

町内対抗バレーボール大会

柴田ミホ

去る十一月七日、三小体育館と二中体育館において育友会町内対抗バレーボール大会を開催いたしました。今年度はこれまで以上の最高二十一チームをかぞえ、三小育友会の盛り上がりを感じ役員一同喜んでおります。特に今までいろんな都合で参加できなかった町内でも、チーム編成がすすみ、初出場や、単独出場チームが六チームにもものぼりましたので、新た

にCパートをつくりました。また、先生方もAパートに加わってもらい、A・B・Cパート別に日頃の練習の成果を発揮して共に年々技術の向上を感じました。Aパートにおいては、応援の人達の中から「さすがAパートね。上手ね」とBCパートに比べアタックの威力、レシーブ共に段違いの強さを感じました。BCパートにおいては、熱戦の中にも笑いあり、ラリー

女子 40才以上 一人
35才迄 二人

と年齢制限をして、大きい町内と小さい町内とのバランスをとりました。走行距離は、時間の都合で男子五十米、女子五十米にいたしました。

役員さんには、選手選考についてご迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。一番心配いたしました集合時間も、町内代議員さんのお力で厳守していただき、時間どおり大会を怪我なく終了する事が出来ました。御協力ありがとうございました。

あり、好プレーありで和氣あいいの試合運びでした。大会成績

大会成績

- Aパート
 - 一位 下川尻
 - 二位 坂上
 - 三位 新山東A 蛭子町
 - Bパート
 - 一位 桃山
 - 二位 新山東B
 - 三位 栄町 湊町
 - Cパート
 - 一位 白土船津下
 - 二位 浦田船津上
 - 三位 白山町 中組町
- 皆様の御協力で無事大会を終えたことを深く感謝申し上げます。

町内だより (三)

崩山池田忠好

月日の経つのは早いもので、五十七年も大詰となって参りました。代議員の任期もあとわずかとなり、八割程度の行事も無事終えたように思いますが。私自身、ほっとしている気持です。

最初、やっていけないのかと不安な気持でいっぱいでした。育友会に携わって三年目、育友会の内容すらわからなかったからです。それまで役員さん任せで、積極的に取り組んでなかったからかもしれません。自分がやって見て、今まで経験された方のご

苦勞がよくわかりました。内容的には「案ずるより産むがやすし。」と言えたかもしれせん。一言でいうなら「小さいさん」みたいな役柄ですね。でも、色々な人との出会い、体験を豊富に味わうことが出来ました。それが私にとって、いい勉強になりました。一例をあげますと、大村の

学校訪問。とっても活発な意見が出され、お母様方の意欲的な姿には、私達は皆、圧倒されてしまいました。

それから、私達の学校においては、校長先生との懇談会もとってもいい事だと思えます。普段、なかなか接する機会のない父兄ですが、色々な意見を交換する事が出来、今後ずっと続けて欲しいですね。校長先生方、長期間大変御苦勞様だと思いますが、よろしくお願い致します。

現在の子ども会について、少々気になることは、余りにも父兄の出番が多すぎることです。

運動の練習、廃品回収など、親達が主体となってやっているみたい。子どもたちに、積極的にやろうとする気持ち不足しているのではないでしようか。それから、他の地域に比べて、挨拶をする人が少ないような気がします。

恥ずかしいのか、私達の方から声をかけてやると返答してくれませんが。……

今度白山地区でも、健全育成会が発足されましたが、実りある育成会が誕生することを希望いたします。

~~~~~

# 部 通 楽しい自転車乗り

交通部主管の「楽しい自転車乗り大会」は、交通安全協会をはじめ、島三小・三小校区内自転車店、交通指導員各位の協力を得て、十月二十四日(日)午前九時から三小運動場において開催されました。子ども達の自転車事故防止と交通安全マナーの向上を目的としたこの大会には、三年生以上の子とも達四十三名が

小 島 健 一

点検シールを貼った自転車を乗って参加しました。大会は、成瀬会長あいさつ、江崎校長祝辞に続いて、交通安全協会田口事務局長から自転車乗りの注意事項説明があった後、競技に入りました。参加者は、時ならぬ寒波にめげず安全走行コースに挑戦し高得点をあげました。競技終了後、自転車店の協

## 子どもクラブ紹介

白土船津上 小川 章 久

ぼくたちの町内は、男子十六名、女子十名、合計二十六名です。

一年に一回の球技大会の練習で、ソフトボールをあまり好きじゃない人もいるが、それなりに、みんなよくがんばった。

球技大会の日は、一回戦は負けたが二回戦に勝って二位だった。

女子も二位だった。

みんなよくがんばったなあと思った。

そして、夏休みや冬休みにする行事は、夏休みはラジオ

体そうです。ラジオ体そうをしているとき、みんなたのしそうにやっていますが、少しのぼせて「ちゃんとしなさい」とおこられることもありま

冬休みは、児童館でそ

じやなわとびなどをよくします。ぼくたちの遊び場は児童館で「こま」「ビー玉」「おにごっこ」「たすけお

ぼくが中学生になっても、球技大会や町内の行事をがんばってしてほしいです。

力でゲームに興じたあと、成績発表、表彰、講評と続き、参加者全員が自転車店からの記念品をもらって、正午すぎ閉会しました。なお、各学年の上位入賞者は次の通りです。

- ①本多敏高
- ②畑 重行
- ③石山貴博
- ④横田賢二
- ①隅部祐二
- ②中村健剛
- ③本多清子
- ④井口徳一
- ①小島 薫
- ②山本公晴
- ③森川幹夫
- ④梅林祐夫
- ①上田 勇
- ②山本公晴
- ③原口和博
- ④梅林祐夫



### 保健・給食部

## 米飯試食会

伯川ヒデ子

十一月十二日、一年生と五年生の父兄を対象に米飯試食会が催されました。

三小の大阪先生において頂き、三十五名ほどの出席でした。その日の献立は、麦入ご飯に豚のショウガ煮、さつまいも汁、味付のり、それに牛乳です。全部の食器に平等に盛り付けするのむずかしく減したり増したりで思うように行きません。子供達は上手にやっているのでしょね。そんな小さな事にも大変だなど

## 子どもの目

### 映画「先生」を見て

六年四組 中川多恵

戦争は、これまで幸せに暮らしていた人も、これから幸せになるうとしていた人も、生まれればかりで、今から日本・世界を知ろうとしていた人も、みんなみんなぶちこわしてしまいました。

戦争が無かったら、竹の子先生はあのころ病院で検査をしていかなくたって、よかったのに……。

戦争が無かったら、あのころ先生をしたってくれる生徒とたくさん勉強できたのに……。

思いました。見た目は少し黒いご飯で、内心おいしいのかな……量はこれで足りるのかしらと思いましたが、食べてるうちに味が有り、冷めていてもおいしくお腹もいっぱいになりました。

食後の話し合いで、米と麦の割合、どんな味噌を使ってるか、おかずの味付けの良さ、子供達が給食を喜んで食べてる事など、いろんな意見が出ました。

これもひとえに大勢の生徒の給食をお世話下さる皆様方のご苦労と暖かい思いやりで、毎日の食事をおいしく楽しく頂いている事に感謝しつつ、米飯試食会を終わりました。

そう思うと、とっても悲しく又、かわいそうで、腹が立つたりします。ただ原爆地を歩いたただけであんなふうになっただけです。あんなにかわいそうです。あんなに先生だから、もっともって生きてほしかった。戦争は、これから絶対にしてはいけないものです。竹の子先生も、そう思って死んでいったと思います。

いえ、竹の子先生だけじゃなく、戦争で死んでいった人達は、みんなそう思っていたと思います。

そんな思いをして死んでいった竹の子先生はじめ、たくさんの方にやすらかに眠ってほしいと思います。



### 教師の目

## 子どものおもちゃと遊び

四年担任 中島 一雄



(教室の中で)

「これ、だれのですか」と一本の黄色の蛍光ペンを調べてみても返事がない。年賀状書きに盛んに使われているとみえて、多くの子が自分の筆入れをのぞきこむ。

「先生、それ、サイン?それともバナナですか?」「???。何ね、それ」「においては何ですか」

最近の学用品は文房具か、それとも「おもちゃ」か、わからないような物が多く目につきます。例えばコーラやココア、いちご、レモン、おまけに焼そばといった「におい付き消しゴム」から、チョコレート型、辞典型といった型をまねた消しゴム類、押しボタン式の筆入れ等々……

それらを使っている子どもたちの学習中のようすはどうでしょうか。  
・授業中、多面式筆箱で、押しボタンをパチパチ押して遊んでいる子。  
・字を消す前に「におい」を

楽しんでから消す子

・ミニカー型の消しゴムを鉛筆ではじいて遊ぶ子

・何色もの蛍光ペンでノートや本を飾りたてて悦に入っている子。等々 学習を阻害している物のひとつと言えます

当然、飽きが来ればポイと捨てたり、人にやったりしたり、落しても平気だったりということになりました。

またすぐ買って貰えるといった安易な気持ちも見のがせません。「物を大切にしない」という前に、本当に大切にしている品物を選んで買わせていらいっしょでしようか。現在、あまりにも商品化され、完成された、買うだけの「おもちゃ」が多いように思えてなりません。

店頭においてある自動販売のおもちゃ類を何回も買っている小さい子をよく見かけます。中身が気に入らないとポイと捨ててしまう無駄使いの典型があります。まさに、買うだけのおもしろさが、自分

の物を大切にするという心をうばっているといえます。

家の中ではどうでしょう。

数千円もする高価な、高性能なゲーム機の氾濫、次から次へと新しいものが商品化され子どもたちは飛びついていきます。大人の、ストレス解消用だったゲーム器が、今、そっくり子どもたちの世界へ入



り込んでしまいました。

ビーツ、ビーツ、ビーツ、……ひとりで、点を上げるために必死に指さきを動かしている子どもたちをみて、不安になる時さえあります。  
情緒的なおもちゃより、知的な衝動的なものが増え、あまりにも商業化されたおもち

ャに、「子どもたちが遊ばざれている」と思えるのです。

業者のいう「動くこと」「音がすること」「光ること」の、おもちゃ三原則はテレビとそっくり。だとすると、おもちゃは「見るだけのもの」となってしまいました。

子どもの豊かな心を育て、広げるものは、積木や砂場のうに、こわしたり、作りなおしたり、工夫して作る中にあると言われます。おもちゃとは本来自分で作るものです。

そうすれば、遊び方も能動的、個性的になるばかりでなく、作ることを通して、ムシ歯になっていくといわれる「手」が動き、子どものさまざまな能力を育てます。

昨年のおもちゃの総売り上げ約七、〇〇〇億円 子ども一人あたり約三万円だそうです。

でも、「作る」ために道具や材料代として使われるのはほんのわずかでしよう。もうすぐ、お正月、お年玉の中のいくらかでも、工作道具と材料代にあて、親子で、兄弟で、遊べる「おもちゃ作

りに挑戦してみられたらいかがでしょう。

その時こそお父さん、お母さんの本領発揮。きつと、ビーツ、ビーツの音を忘れ、ひとみも輝き、手も動き、心の中もぐーんと広がることでしょう。「物を大切にしろ」ということも大事ですが、「大切にする物」を与えようではありませんか。

### 編集

### 後記



年の瀬もせまり、会員の皆様には、何かとお忙がしい毎日をお越しの事と存じます。

がんば、六十九号をお届けします。今年から始めた、「親の目、子の目、教師の目」それに、「町内だより」「子どもクラブだより」も、ようやく定着した感じがいたします。シリーズ物として、今後も続けたいと思っておりますので、皆様の尚一層の御協力をお願いいたします。季節がら、健康に充分注意され、よい新年をお迎え下さい。